

I. 新型コロナウイルス感染症に対する 武蔵野市の対応

令和3年版より、令和2年度以降に実施した新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応について、II. 福祉総合からX. 国民健康保険までに記載の事業から抽出し、新たに章立てをした上でまとめています。

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する令和3年度新規事業は、**コロナ新規**と表示しています。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する令和2年度の新規事業のうち、令和3年度も継続して実施したものは、**コロナ継続**と表示しています。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和3年度に既存事業（既掲載事業）を変更（拡充・縮小・中止等）した場合は、**コロナ変更**と表示しています。

※新型コロナウイルス感染症対策に関する新規事業のうち、令和2年度のみ実施したものについては**コロナ〇〇**の記載はしていません。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

1. 福祉総合

(1) 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 コロナ新規

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、給付金支給事業を実施する。

① 支給対象

ア 基準日（令和3年12月10日）において世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ※住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。

イ アのほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、アの世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）

② 支給額

1世帯につき100,000円。

年度	支給決定件数		
	①住民税非課税世帯(件)	②家計急変世帯(件)	支給金額(円)
3	11,970	73	1,204,300,000
合計	11,970	73	1,204,300,000

(地域支援課)

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（地域支援課） コロナ変更

事業名	対応の内容
地域包括ケア人材育成センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者研修を再開。 ・ 認定ヘルパー養成研修は第1期（6月～7月）、第2期（2月）のいずれも感染症対策を行ったうえで実施。 ・ 技術研修、認知症支援研修、管理者研修はオンラインを活用し実施。 ・ プロジェクト「若ば」はオンラインで1回実施。お仕事フェアを中止。
成年後見制度利用促進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵野市地域連携ネットワーク協議会、第1回・第2回会議をオンラインで実施。 ・ 成年後見制度市民講演会を、感染症対策を行ったうえで、商工会館市民会議室にて定員50名で実施。 ・ 成年後見制度学習会・相談会を、感染症対策を行ったうえで、スカイルームにて定員40名で実施。

2. 地域福祉

(1) 武蔵野市赤十字奉仕団

①事務職用マスクと医療現場用ビニールエプロンの製作

令和2年度に、日本赤十字社東京都支部からの依頼により、武蔵野赤十字病院へ事務職用マスク、大森赤十字病院へ医療現場用ビニールエプロンの製作を行った。（資材の提供、製作物の回収等は東京都支部が実施）

（地域支援課）

(2) 社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会（略称：市民社協）

①地域福祉活動推進協議会（地域社協）運営委員研修

令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域社協運営委員研修で Zoom 体験研修を実施した。

開催日時等	事業内容・活動内容等
令和2年 8月20日（木） 8月24日（月） 市民社協会議室	<ミニ研修 Zoom体験会> コロナ禍において、地域社協の会議や打合せをオンラインで行うことを選択肢の1つとして考えられるようにするため、初心者向けの講座を実施した。 参加者：合計19名（全3回）

②新型コロナウイルス感染症に伴い実施した事業

ア 地域団体による市民社協 Facebook でのメッセージリレーの実施

外出自粛等が続き従来の地域活動に取り組むことが難しい状況下において、地域住民に向けてのつながり続けるためのメッセージを各団体によるリレー方式で発信した。

- ・実施団体：地域社協（13団体）、身近な地域の居場所づくり助成金交付団体（9団体）
- ・実施期間：令和2年5月13日～6月18日

イ コロナ禍の地域活動の事例を紹介した動画等の作成 コロナ新規

コロナ禍における地域活動を工夫して行っている16の事例を動画で紹介し、公開した。

- ・動画「コロナ禍の地域活動ってどうしてる？～ヒントとなる16の事例紹介～」
- ・再生回数：三密対策編345回、今しかできないこと編200回、新しいことにチャレンジ編210回（令和4年3月31日時点）
- ・公開日：令和3年8月16日

②ボランティアセンター武蔵野（略称：VCM）における新型コロナウイルス感染症への対応のため実施した事業

ア Zoom ボランティアが教える Zoom 講座 コロナ新規

新型コロナウイルス感染症で地域活動やボランティア活動や衰退しないようオンラインで会話できる Zoom の使い方について説明する講座を実施。4月～3月まで17回実施。参加者50人。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

イ 手づくりマスク等の募集及び寄贈

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、不足していたマスクを市内福祉施設等に寄贈することや、自粛期間中でもできるボランティア活動として、手づくりマスクを募集した。令和2年4月～6月まで募集し手作りマスク1,378枚、サージカルマスク6,041枚、ガーゼマスク1,290枚、その他材料（ゴムひも等）が集まり、市内福祉施設（12か所）へ寄贈した。

ウ ひとりじゃないプロジェクトの試行実施

新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛のなか、会話ができないモヤモヤを抱える人向けに、市内で5名のカウンセラーによる団体「庵」と協働で、電話で傾聴を行うボランティアプロジェクトを令和2年5月～8月まで実施し、延17人が利用した。

（武蔵野市民社会福祉協議会）

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（地域支援課・市民社協） コロナ変更

事業名	対応の内容
民生委員・児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例年実施していた主な活動や行事については、管外視察研修、生活福祉課・障害者福祉課ケースワーカーとの意見交換会は中止となった。 ・関係機関との地区連絡協議会（四者協）は3会場での分散会形式にて実施。 ・毎月の合同協議会について、5月は中止、4月、11月、12月は通常開催。6月、7月、1月～3月は単位民児協ごとに時間差で資料交付する形式をとった。
社会を明るくする運動	<ul style="list-style-type: none"> ・駅頭PR活動（7月）、市内夏祭り等での広報活動（7月～9月）を中止。
保護司会	<ul style="list-style-type: none"> ・10月、11月を除き、書面開催等で必要最小限の会議開催に留め、イベント等も中止とした。
シニア支え合いポイント制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントの交換期限を令和3年3月31日から令和3年5月31日へ延長 ・5月、7月、11月、2月の説明会（4回）を中止。
赤十字奉仕団	<ul style="list-style-type: none"> ・必要最小限の会議開催に留めた。 ・世界赤十字デー記念街頭キャンペーン、研修等は中止、会員増強運動を5月から10月～11月に延期した。 ・主な活動であるボランティア活動について、受け入れ先との協議により一部中止。
児童福祉事業（市民社協）	<ul style="list-style-type: none"> ・むさしのジャンボリー中止に伴い、むさしのジャンボリー参加費支給を中止。 ・児童養護施設との交流を中止。
障害者福祉事業（市民社協）	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレクリエーションを中止。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

貸付事業（市民社協）	・新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、一時的または継続的に減収した世帯を対象として生活費の貸付を行う。令和2年3月25日より開始。貸付件数1,070件。
普及啓発事業（市民社協）	・広報委員会は7月まで書面開催、10月からはオンラインにより開催。 ・7月4日の七夕のつどいを中止。
調査・研究事業（市民社協）	・高齢者理解を深めるための講座を動画やZoom等オンラインで開催（認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験学習指導案の提供）。
その他の法人運営事業（市民社協）	・第26回チャリティゴルフ大会を開催（表彰式及び懇親会を中止し、規模を縮小）
ボランティアセンター武蔵野（略称：VCM）	・講座等に関しては、事業中止やZoomセミナーを急遽行う等してオンラインによる実施に変更。 ・運営委員会等は6月まで中止（令和2年3月～）、運営委員会研修は中止。

3. 生活福祉

(1) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 コロナ新規

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯が存在する。こうした世帯に対して、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるために支給。令和3年7月に開始した。支給月額が世帯人数により60,000円から100,000円。支給期間は3ヶ月間。一度に限り、初回と同内容の再支給が可能。

年度	3
支給決定件数（うち再支給）（件）	249(78)
延べ支給件数（うち再支給）（件）	648(194)
支給金額（円）	46,860,000

（生活福祉課）

(2) 生活困窮者特別就職支援金 コロナ新規

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で生活に困窮する世帯について、当該世帯の生計中心者が常用就職等をした際の初回給与入金までの生活安定及び就労の定着を目的に支給。住居確保給付金または新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金受給期間中に常用就職した際に50,000円、その後、6か月以上の就労継続した際に50,000円。令和3年10月1日以降の常用就職が対象。

年度	3
支給決定件数（件）	9
支給金額（円）	450,000

（生活福祉課）

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(3) 生活困窮者住居契約更新料給付金 コロナ新規

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で生活に困窮する世帯について、現在の住居を喪失することを防ぐために更新料の一部を支給。住居確保給付金受給中に住居の契約更新を迎えた際に、住居確保給付金支給月額または更新料のうち低い額。令和3年4月1日以降の住居確保給付金申請者が対象。

年度	3
支給決定件数（件）	26
支給金額（円）	1,321,600

（生活福祉課）

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（生活福祉課） コロナ変更

事業名	対応の内容
住居確保給付金事業	・国の制度改正により、①支給対象要件等の緩和（令和2年4月1日～ほか）、②支給期間が最長9ヵ月から12ヵ月に拡大（令和3年1月1日～令和3年3月31日）、③再支給要件の緩和（令和3年2月1日～令和4年8月31日）。
学習支援事業	・令和2年6月14日まで中止（令和2年2月29日～）。サポート型については、電話等により自宅での学習を支援。 ・令和3年1月8日～3月31日まで、事業の終了を午後8時までに短縮。

4. 児童福祉

(1) 子育て世帯臨時特別給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するために、児童手当（本則給付）を受給する世帯に対し、対象児童一人あたり10,000円の子育て世帯臨時特別給付金を支給。

年度	対象世帯数（世帯）	対象児童数（人）	支給金額（円）
2	7,458	11,295	112,950,000

——令和2年度武蔵野市子育て世帯への臨時特別給付金支給事業実施要綱——

（子ども子育て支援課）

(2) ひとり親家庭等支援臨時給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、児童育成手当を受給する世帯の生活を支援するために、対象児童一人あたり30,000円のひとり親家庭等支援臨時給付金を支給。

年度	対象世帯数（世帯）	対象児童数（人）	支給金額（円）
2	751	968	29,040,000

——令和2年度武蔵野市ひとり親家庭等支援臨時給付金支給事業実施要綱——

（子ども子育て支援課）

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(3)ひとり親等世帯臨時特別給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、児童扶養手当受給者等のひとり親世帯に対し、子育ての負担感の増加や収入の減少に対する支援として、ひとり親等世帯臨時特別給付金を支給。基本給付は1世帯50,000円、2子以降は1人につき30,000円加算。追加給付は1世帯50,000円。さらに、基本給付と同じ対象世帯に対し同額の給付金を再支給。

年度	対象世帯数（世帯）	支給金額（円）
2	1,503	86,010,000

——令和2年度武蔵野市ひとり親等世帯臨時特別給付金支給事業実施要綱——

（子ども子育て支援課）

(4)新型コロナウイルス感染症緊急対策に係るひとり親家庭支援事業

新型コロナウイルス感染拡大により経済的な影響を受けやすいひとり親家庭等の生活の安定を図るため、東京都が児童扶養手当受給者等を対象に食料品等のカタログギフト配布事業を実施。対象者抽出及び発送を受託。

年度	対象者数（人）
2	560

（子ども子育て支援課）

(5)令和3年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業 コロナ新規

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、児童扶養手当受給者（ひとり親世帯分）及び児童手当受給者（ひとり親以外の子育て世帯分）、またはそれ以外の18歳までの児童（障害児の場合は20歳未満）を養育する世帯へ臨時特別の給付金を支給。所得要件あり。対象児童一人あたり50,000円。

年度	支給区分	対象世帯数（世帯）	対象児童数（人）	支給金額（円）
3	ひとり親世帯分	489	658	32,900,000
	ひとり親以外の子育て世帯分	723	1,153	57,650,000

——令和3年度武蔵野市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親等世帯分）実施要綱——

——令和3年度武蔵野市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親等世帯以外の子育て世帯分）支給事業実施要綱——

（子ども子育て支援課）

(6)令和3年度子ども子育て支援特別給付金支給事業 コロナ新規

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国の特別定額給付金事業及び都の出産応援事業のいずれにも対象とならなかった児童を養育する世帯に対し、市独自の臨時特別給付金を支給。対象児童一人あたり100,000円。

年度	対象者数（人）	支給金額（円）
3	769	76,900,000

——令和3年度武蔵野市子ども子育て支援特別給付金支給事業実施要項——

（子ども子育て支援課）

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(7) 令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業 コロナ新規

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、18歳までの児童を養育する児童手当（本則給付）相当の所得の子育て世帯へ臨時特別の給付金として、対象児童一人あたり100,000円を一括支給（「一括給付金」）。また、離婚等で新たに養育者となり、基準日以降に支給対象となった者に対し「支援給付金」として同額を支給。所得要件あり。

年度	支給区分	対象世帯数 (世帯)	対象児童数 (人)	支給金額 (円)
3	一括給付金	8,207	12,532	1,253,200,000
	支援給付金	41	62	6,200,000

——令和3年度武蔵野市子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時特別給付金）支給事務実施要綱——
(子ども子育て支援課)

(8) 新型コロナウイルス感染症対策臨時休業時利用補助金 コロナ継続

新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等によりファミリー・サポート・センター事業を利用する場合に、利用料相当額の助成を行う。(上限あり)

年度	2	3
延利用時間数(時間)	884	242

——武蔵野市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱——

(子ども子育て支援課)

(9) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業 (子ども子育て支援課) コロナ変更

事業名	対応の内容
0123 吉祥寺・0123 はらっぱ	・利用者を、武蔵野市民に限定（令和2年度より継続）。
すくすく泉	・子育てひろばについて、密を避けるため、午前・午後で利用年齢を分けて実施（令和2年度より継続）。
境こども園いこっと	・ひろば事業の一部を変更（令和2年度より継続）。
とことこおやこひろば	・ひろば事業の一部を変更（令和2年度より継続）。
コミセン親子ひろば	・西久保コミセンは、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部中止（令和2年度より継続）。 ・吉祥寺北コミセンと西部コミセンで、オンラインひろばを実施（令和2年度より継続）。
ふたご・みつごのつどい	・オンライン開催により実施（令和2年度より継続）。
子育てフェスティバル	・原則オンライン開催により実施。
子ども・子育て講演会	・オンライン開催により実施。
ベビーカー貸出しサービス事業「ベビ吉」	・一部休止（令和2年度より継続）。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(10) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（子ども育成課） コロナ変更

事業名	対応の内容
認可保育施設利用者負担（保育料）賦課・徴収	・認可保育施設を欠席した利用者に対し、臨時休園、保健所、医師からの指導または市からの要請により児童が登園自粛した日数に応じて利用者負担（保育料）を日割り減額（令和2年3月～）。
新型コロナウイルス感染症による保育施設等の臨時休園等に対する支援事業補助金	・認証保育所に対し、臨時休園や、保健所、医師からの指導または市からの要請により児童が登園自粛した日数に応じて、施設が保育料を減額した場合の補助を実施（令和2年3月～）。

(11) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（児童青少年課） コロナ変更

事業名	対応の内容
学童クラブ事業	・8月27日から9月30日まで学年別での育成を行った。
児童館	・行事の一部を中止または縮小した。（中止：わーいこどもの日、じどうかんまつり、水遊び、夏期行事）
地域子ども館 あそべえ事業	・8月27日から9月30日まで休館。 ・10月1日から再開。図書館開放については10月1日以降順次再開した。

(12) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（教育支援課） コロナ変更

事業名	対応の内容
就学援助費	・認定要件を臨時的に拡大した。

5. 高齢者支援

(1) 事業者支援

① 介護職・看護職 Re スタート支援金支給事業 コロナ継続

介護施設等の人材確保が一層懸念されることから、市内の介護施設等に就職し、継続して6か月以上の勤務が見込まれる常勤職員に対し、支援金を支給。

年度	2	3
有資格者（15万円）	43（うち介護40、障害3）	33（うち介護31、障害2）
無資格者（5万円）	13（うち介護11、障害2）	12（介護のみ）
計	56件、7,100,000円	45件 5,550,000円

—武蔵野市介護職・看護職 Re スタート支援金支給事業実施要綱—

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

②高齢者施設及び障害者施設におけるPCR検査等費用助成 コロナ継続

新型コロナウイルスの感染拡大と重症化するリスクの高い者の集団で形成される施設が、職員や利用者を対象として実施するPCR検査等の費用を助成。

年度	2	3
事業所数（件）	13	45
検査数（回）	437 （うちPCR検査 330、 抗原検査 107）	1,114 （うちPCR検査 467、 抗原検査 647）
支給金額（円）	4,840,000	7,029,000

——武蔵野市高齢者施設及び障害者施設におけるPCR検査等費用助成事業実施要綱——

③防護服着脱実習 コロナ新規

保険者が行う居宅介護支援事業者や訪問介護事業者を対象とした感染症対策研修（防護服着脱実習）を4回実施し、基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センターの保健師を講師として派遣した。

(2)新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免 コロナ継続

新型コロナウイルス感染症により、①主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った第1号被保険者、②主たる生計維持者の事業収入等が著しく減少した第1号被保険者について、申請に基づき介護保険料を減免する。

実績

年度	2	3
減免決定件数（件）	56	22
減免決定額（円）	3,971,400	1,494,800

（高齢者支援課）

(3)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（高齢者支援課） コロナ変更

事業名	対応の内容
高齢者等緊急訪問介護（レスキューヘルパー）事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者が新型コロナウイルスに感染したことにより介護者不在となる場合、また高齢者本人が感染し自宅待機となった場合にもヘルパーを派遣できるように事業を拡充し、令和2年5月21日より感染症対応レスキューヘルパー事業を実施。 ・「感染症対応レスキューヘルパー感染対策マニュアル」を作成し、委託事業者に対して基幹型地域包括支援センター保健師による研修を実施。 ・委託事業者に防護服等を提供。
デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、一部施設で介護教室及び施設ボランティア懇談会は未実施。
会食型食事サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じたうえで、4施設中2施設でのみ実施。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

<p>認知症高齢者支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症相談事業：面談と電話相談を併用しつつ、緊急事態宣言期間中は電話相談のみとして継続。 ・認知症サポーター養成講座：オンラインによる講座も併用しつつ適宜開催。 ・認知症を知る月間：講演会はZoom（ウェビナー）を利用し、オンライン及び市内3ヶ所の会場にてオンライン講座を視聴できるハイブリット型講演会として開催した。
<p>家族介護教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言期間中は事業を原則休止。 ・「家族介護支援事業感染症対策ガイドライン」を作成し、委託事業者に配付（令和2年度）。
<p>家族介護支援プログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言期間中は事業を原則休止。家族介護者の集いは会場とオンラインの併用により実施。
<p>施設介護サポーター事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1施設のみで実施。養成研修は実施せず、受入事業は屋外の作業を中心として実施。
<p>テンミリオンハウス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前予約制、身体的距離の確保に伴う定員の制限、開設時間の短縮、消毒・マスク着用の徹底などの感染防止対策を感染状況にあわせて実施したうえで事業を継続。 ・感染症対策に必要な費用に対し、1施設10万円を上限に補助金を交付。 ・フレイル予防推進プログラムの実施を推進するため、20回を上限に実施1回あたり5万円を加算する項目を運営費補助に追加した。
<p>いきいきサロン事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「武蔵野市いきいきサロン感染症対策ガイド」に基づき、身体的距離の確保、活動時間の短縮、消毒・マスク着用の徹底などの感染防止対策を感染状況にあわせて実施したうえで事業を継続。 ・感染症対策に必要な費用に対し、1サロン10万円を上限に補助金を交付。 ・令和3年度から時限的に市立施設（コミュニティセンター、市民会館、武蔵野プレイス）で事業を実施する場合も補助の対象とした。
<p>レモンキャブ事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予約期間を1カ月に短縮し、感染防止対策を徹底しながら、利用者を通院・ワクチン接種等でレモンキャブ以外の交通手段の代替が困難な方に限定した特例運行で事業を継続。感染状況緩和のため、令和4年1月4日から31日まで通常運行を行った。 ・令和3年12月12日に1年の延期を経て20周年記念事業を開催し、永年功労表彰（対象者は20年9人、10年以上20年未満10人）を行った。 ・令和2年度に引き続き、運行協力員を対象とする感染症に備えた保険に加入した。
<p>エンディング（終活）支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言期間中は出前講座を原則休止。受講希望団体等とは事前に感染防止対策を確認。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

敬老記念事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月15日現在77歳以上の市民に敬老祝品（ティーバッグ詰合せ）を郵送（8月下旬から9月中旬）。 ・ 敬老福祉の集い（令和3年9月21日、24日）を中止。市長による百歳訪問は中止、長寿祝品は例年どおり郵送。
世代間交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 境南小学校ふれあいサロン及び高齢者タブレット教室を令和3年度内中止。
シルバースポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年10月16日に予定していた開催を中止。
健康体操と浴場開放	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染防止対策を十分に講じたうえで、会場を事前登録制にし、時間も30分に短縮して実施。
高齢者食事学事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の対面式の料理講習会からチラシの配布・動画配信等に事業内容を変更して実施。
地域健康クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策を講じたうえで実施。
ケアリンピック武蔵野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策を講じ、令和3年11月27日（土）にオンライン開催（関係者のみ来場）。
市内介護事業所へマスク等の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の備蓄品や東京都から支給された感染防止用品を市内介護事業所へ配布。
フレイル予防啓発のホームページへの掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅でできるフレイル予防の動画を令和2年度に作成し、令和3年度も引き続き市ホームページへ掲載。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（住宅対策課） コロナ変更

事業名	対応の内容
福祉型住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居募集の申込方法について、募集期間中に直接市役所に来庁し申し込む方法から、事前の電話による来庁予約をしたうえで、人数を調整して個別面談を行う方法に変更。面談時には手指消毒及び検温を行い、申込者と職員の間にはアクリル板を設置、1組終了ごとに机椅子の消毒を実施。 ・ 入居者同士の交流を図るため月1回実施している茶話会やコーラス等の催しを休止。

6. 障害者（児）福祉

(1) 手話通訳者慰労金支給事業

緊急事態宣言期間中に派遣を行い、市民生活を支えた手話通訳者に市独自の慰労金を支給。

【令和2年度実績】

対象者（人）	11
金額（円）	110,000

※令和2年度のみ実施。

(2) 手話通訳者へフェイスシールド及び透明マスク配布

登録手話通訳者の新型コロナウイルス感染防止と安全確保を図るためフェイスシールド及び透明マスクを配布。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

【令和2年度実績】

フェイスシールド	配布数（個）	40
	金額（円）	13,200
透明マスク	配布数（個）	10
	金額（円）	2,750

※令和2年度のみ実施。

(3) 移動支援事業（臨時的な取扱い）

緊急事態宣言が発出され外出自粛が要請された期間における、事業所への支援（令和2年3月実績分～8月実績分）。

内容	対象	事業所数	金額（円）
キャンセル分の補填	外出の自粛や利用者、家族に発熱している方がいるなどを理由として発生したキャンセル分	26	9,192,800
事務手数料の割増	感染予防対策にかかる費用負担分を「感染予防加算」として事務手数料に上乗せ（1,000円→2,000円/1回）	42	5,166,000
事業所での独自の工夫 取り組みに対する給付	支援の対応等を共有し、支援の質をより高めること。 （感染症対策、虐待防止、熱中症対策などこの時期に すぐに必要なテーマであることが条件）	12	924,000

※令和2年度のみ実施。

(4) 日中一時支援事業（臨時的な取扱い）

緊急事態宣言の発出を受け在宅で長時間過ごす見込まれるサービス利用者へ対し、心身の状況や生活における影響等を早期に把握し、安否確認や見守り、相談支援等、必要な支援をする事業者への支援（令和2年4月～5月実績分）。

内容	対象	利用者 （人）	金額 （円）
代替サービス利用（居宅への訪問又は電話やITを活用した支援）に係る利用者負担の減免	利用者負担のある方	12	38,000

※令和2年度のみ実施。

(5) PCR検査等費用助成事業 コロナ継続

新型コロナウイルス感染防止対策として重症化するリスクの高い施設の利用者及び職員に対するPCR検査等の費用を助成。

年度	2	3
事業所数	10	18
検査数（回）	168（全件PCR検査）	378（全件PCR検査）
金額（円）	2,364,000	3,973,000

——武蔵野市高齢者施設及び障害者施設におけるPCR検査等費用助成事業実施要綱——

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(6) 障害福祉サービス事業者へのマスクの配布

厚生労働省及び東京都が新型コロナウイルス感染防止対策として自治体に配布するマスクを活用し、サービス事業者へ配布。

【令和2年度実績】

配布種別	配布か所	配布数（枚）
マスク	76	66,350

※令和2年度のみ実施。

(障害者福祉課)

(7) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（障害者福祉課） コロナ変更

事業名	対応の内容
障害者差別解消の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消支援地域支援協議会を書面にて開催。
地域活動支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援センターびーと <ul style="list-style-type: none"> ・飲食を伴うもの、大きな声を出すものは中止。他の事業は感染防止対策を十分に講じたうえで実施。 ・公開セミナー（市民向け事業）をオンラインで開催。 ・ライフサポートMEW <ul style="list-style-type: none"> ・未実施のプログラムあり。他のプログラムは感染防止対策を十分に講じたうえで実施。 ・コット <ul style="list-style-type: none"> ・未実施のプログラムあり。他のプログラムは感染防止対策を十分に講じたうえで実施。
武蔵野市民こころの健康支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外出自粛等によりメンタルヘルスの問題を抱える市民の増加が見込まれることから電話相談の回数を増加。 ・テーマ講座は2回ともオンライン（動画視聴）で実施。
精神保健福祉講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン（動画視聴）で開催。
障害者歯科相談	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、定員を8名に縮小して、感染防止対策を十分に講じたうえで実施。施設巡回相談は通常実施。
心のバリアフリー啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を十分に講じたうえで、オンライン開催やDVD視聴等も併用して実施。
障害者(児)ショートステイ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅障害者(児)の緊急一時入所、体験入所等及びレスパイト(介護者等の休養)、短期入所(ショートステイ)の受入数を縮小。
むさしのあったかまつり	<ul style="list-style-type: none"> ・第20回むさしのあったかまつりの開催を延期。
日常生活訓練補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・YMCAあおぞらの会が実施する障害児の野外活動事業のうち宿泊プログラムを中止。他の事業は感染防止対策を十分に講じたうえで実施。
失語症者デイサービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を10名から5名に縮小して感染防止対策を十分に講じたうえで実施。
武蔵野市地域自立支援協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会・報告会等をウェブにて開催。
武蔵野市障害者福祉センター施設・機器等の貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月24日まで利用者定員の半減や夜間施設貸出を中止。 ・調理室の貸出を中止。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

武蔵野市障害者福祉センター 障害者講習会	・感染リスクの高い講座（うたの教室・ボッチャ・パークカション）の中止 ・他の講座は定員を半数に縮小して、感染予防対策を十分に講じたうえで実施。
武蔵野市障害者福祉センター 通所移送事業	・移送車1台の定員を半数に縮小し、運転手及び介助員の感染予防対策を徹底したうえで実施。
武蔵野市障害者福祉センター センター講演会	・感染対策を十分に講じたうえで、対面方式とオンラインを併用しての開催。
武蔵野市障害者福祉センター 地域活動	・例年参加してきた各事業が中止または延期となったため、参加を中止。
武蔵野市障害者福祉センター 関係機関連絡会	・感染対策を十分に講じたうえで、オンラインでの開催。
みどりのこども館 おもちゃ のぐるりん（地域開放型事業）	・入れ替え制（10時から12時、14時から16時）で各定員10名とし、感染対策を十分に講じたうえで事業を実施。 ・ぐるりんだよりは従来隔月発行であったが、新型コロナウイルス感染状況によって開館時間などに変更がでるため、毎月発行とした。

(8) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（住宅対策課） コロナ変更

事業名	対応の内容
福祉型住宅	・入居者同士の交流を図るため月1回実施している茶話会やコーラス等の催しを休止。

7. 保健衛生

(1) 食育事業

① 第1回食育フェスタ（オンライン）の実施 コロナ新規

市の食育に関する取り組みを広く発信して市民の食への関心を高め、今後の食育活動の広がりを図ることを目的に第1回むさしの食育フェスタを実施。新型コロナウイルスの影響で、オンラインで実施した。

特設ホームページ名「むさしの食育フェスタ」

主な掲載内容

動画（アウトドアクッキング、スポーツ栄養、食と農、美肌と食、減塩、食品ロス削減、学校給食レシピ、保育園の収穫野菜、工作（弁当）と弁当をテーマにした手遊び、おせち料理）

野菜クイズ

農産物直売所の周知

公開日 令和3年12月15日～令和4年1月31日 終了後もアーカイブとして閲覧可能

実施期間中のアクセス数 1,311件

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

②食育ホームページにおける情報発信 コロナ継続

「第1回むさしの食育フェスタ」（令和2年11月を予定）を始めとした各種イベントが新型コロナウイルスの影響で中止になり、「武蔵野の「食」と市民をつなぐ」機会が消失してしまったため、食育の周知を充実させることを目的に、食育のホームページを一新し特設ホームページを開設した。

特設ホームページ名 「食を育む。むさしの」

主な掲載内容

学校給食 給食調理場における調理風景の動画

市内農業 市内生産者や畑の写真

友好都市の食 各友好都市の特産食品の写真

その他の食育 各課の食育の取り組みの写真

公開日 令和2年12月15日

(2)健康増進事業

①わくわくキッズオンライン食育講座 コロナ新規

子育て世代への保護者や家族の食生活改善につながる、アイスクリーム作り等の体験つき食育講座を実施。令和3年度より、対面型の「食べ力のびのび教室」から名称を変更し、オンライン出前講座として提供していくことを目的に、試行事業として実施。

年度	3
実施回数(回)	1
参加者数(人)	18

②オンライン講座「ママのための栄養のお話&親子de体操」 コロナ継続

コミュニティ協議会との共催事業として推進してきた「ママのための健康講座と親子de体操」を双方向のオンライン出前講座として実施。

年度	2	3
実施回数(回)	1	2
参加者数(人)	28	21

③健康づくり出前講座オンライン併用型「インボディ測定会」 コロナ新規

オンライン併用型（測定：健康づくり応援パートナー店舗などで対面実施。結果の見方説明、運動・栄養講座：ZOOMを使用したオンライン実施）健康づくり出前講座として、主に健康づくり応援パートナー店を対象として令和3年度から開始。若い世代の方々がより参加しやすくするため、測定はお子さま連れ可とした。

年度	3
実施回数(回)	3
参加者数(人)	29

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

④ 自宅で健康づくり支援事業（※令和2年度までは自宅で体操支援事業） コロナ継続

1日の活動量が減少している市民への健康づくり支援として、ホームページ内（市リンク）に「おうち時間de健康づくり」コーナーを開設するほか、メールマガジン「むさしの健康づくり応援ニュース」での配信、窓口での配布等を実施。令和3年度は、「学んで実践！ウォーキング教室」のポイントを抜粋し、「ウォーキング教室動画」としてホームページに掲載。

年度別件数

年度	元(31)	2	3
毎日★自宅ジム（PDF）	9	15	0
動画提供	-	-	9

(3) 新型コロナウイルス感染症発生に伴う感染症対策

① 武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 コロナ継続

武蔵野市における新型コロナウイルス感染症対策について、意見を聴取するとともに、助言を求めため、武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を開催した。

開催	日程	主な議題
第1回 全体会	令和2年3月9日	(1) 新型コロナウイルス感染症これまでの経緯、(2) 武蔵野市の新型コロナウイルス感染症対策と今後の対応について、(3) 今後の検査・医療体制等について
第2回 全体会	令和3年8月23日	(1) 教育活動の留意事項、(2) 宿泊行事の実施、(3) 部活動の実施、(4) 学校施設開放、(5) 2学期の開始時期

② PCR検査体制の整備

ア 武蔵野市PCR検査センター

新型コロナウイルス感染症拡大リスクに備え、令和2年度に唾液による検体採取やドライブスルー方式などによるPCR検査を実施する体制を整備した。

開設期間	令和2年5月21日 ～令和3年2月28日
検査数（人）	370
陽性者数（人）	26
陽性率（％）	7.0

イ 市内の各医療機関におけるPCR検査 コロナ継続

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市内のPCR検査を行う医療機関に対して、令和2年度に検査体制の整備を進めるための補助を行い、市民が身近な医療機関でPCR検査を受けられる体制の充実を図った。

・武蔵野市医師会の医療機関によるPCR検査

年度	2	3
検査数（人）	4,025	24,661
陽性者数（人）	494	6,908
陽性率（％）	12.3	28.0

※2、3次救急医療機関を除く。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

③感染症指定病院及び救急医療機関の医療提供体制の充実

感染症患者の受け入れを行う感染症指定病院や市民のPCR検査等を行う救急病院に対して、令和2年度に補助金を支出した。

病院	補助金額（円）
武蔵野赤十字病院	90,000,000
武蔵野陽和会病院	30,000,000
吉祥寺南病院	30,000,000
森本病院	20,000,000

④医療機関へのマスクや防護服等の配布、貸与 コロナ継続

全国的なマスク不足が深刻な状況となり、医療機関においても、マスクや防護服等の感染防止資材が不足する状況となったため、令和2年2月下旬頃から、市内の医療機関に対して、市で備蓄していたマスクや防護服等の配布・貸与を行った。なお、各診療所等には、武蔵野市医師会等を通じて、配布・貸与を行った。令和3年度には、自宅療養者への診療などにも各種衛生用品の活用が図られた。

医療機関へ配布・貸与した主な実績

年度	実施日	対象機関	内容
元 (31)	令和2年2月28日等	武蔵野市医師会	マスク約20,000枚
	令和2年3月6日	吉祥寺南病院	マスク2,000枚
	令和2年3月9日	森本病院	マスク2,000枚
	令和2年3月18日	武蔵野陽和会病院	マスク5,000枚
	令和2年3月30日	武蔵野市歯科医師会	マスク6,000枚
2	令和2年4月2日	武蔵野市薬剤師会	マスク3,000枚
	令和2年4月9日	武蔵野赤十字病院	医療用手袋1,000双 防護服800着
3	令和3年8月18日等	武蔵野市医師会	マスク104,000枚 医療用手袋40,000双 防護服200着 など
	令和3年8月23日等	武蔵野市薬剤師会	マスク約17,000枚 医療用手袋63,000双 防護服50着 など

⑤妊婦へのマスク配布

ア 出産予定の妊婦の感染不安を軽減するため、市独自でマスクを配布した。

イ 厚生労働省による妊婦用マスクを窓口配布及び郵送配布した。

	配布日	内容
ア	令和2年4月30日（4月出生予定の妊婦）	紙マスク3枚、ポリウレタンマスク1枚
	令和2年5月20日（5月以降出産予定の妊婦）	ポリウレタンマスク2枚
イ	令和2年6月～10月	布マスク2枚（毎月）

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

⑥ 自宅療養者への医療支援体制の整備 コロナ新規

武蔵野市医師会の各医療機関へパルスオキシメーターの配備や、酸素濃縮器の整備（リース方式）等に係る経費補助等を行い、PCR検査等を実施した市内医療機関が自宅療養者の病状等に応じてパルスオキシメーターを貸与、健康観察、電話・オンライン・訪問等による診療、酸素濃縮器の貸与等を行う医療支援体制を整備した。

令和3年8月	パルスオキシメーター200台を武蔵野市医師会の各医療機関に配備
令和3年9月 ～令和4年3月	酸素濃縮器の貸与実績 4件

⑦ 東京都モニタリング検査（PCR検査）への協力 コロナ新規

東京都が実施するモニタリング検査（PCR検査）事業に市として協力を行い、武蔵野市商店会連合会会員及びその従業員のうち希望する方を対象として、各商店会長を通じて検査への協力を依頼した。

- ・検査期間 令和3年6月14日～18日、令和3年8月30日～9月12日

⑧ 武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部の設置 コロナ継続

新型コロナウイルスワクチン接種を安全かつ確実に推進するため、市長を本部長とする「武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部」を設置し、接種実施に係る協議を行った。（接種事業についての詳細は「IX保健衛生 1 予防接種事業」を参照）

年度	回数	開催回
2	11回	第1回～11回
3	33回	第12回～44回

(健康課)

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（健康課） コロナ変更

事業名	対応の内容
検（健）診	・骨粗しょう症予防検診は、令和2年度に引き続き集団で行う健康教育・事後指導を実施せず、受診者全員に骨粗しょう症予防に関するパンフレットを配付、要精検者に紹介状を交付した。
介護予防事業	・歯つらつ健康教室、おいしく元気アップ！教室、健康やわら体操の講座内容と定員は、令和2年度と同様に実施。
口腔健康診査	・桜まつり（4月）、よい歯のための集い（6月）、青空市（11月）の中止に伴い中止。
よい歯のための集い	・事業を中止。
こうのとりの学級	・平日クラスの講話内容を土曜日クラス申込者に対して動画配信し、土曜日クラスは定員を減らして実施。
保育所歯科健康教育	・染め出しは行わずに実施。
ベビーサロン	・自由来所制を予約制へ変更し、会場ごとに対象地区を定めて実施。
ゆりかごむさしのフェスティバル	・オンラインで実施（子ども子育て支援課主管の子育てフェスティバルと合同開催）。
高齢者肺炎球菌予防接種	・令和元、2年度の対象者の接種期間を延長して令和4年9月30日までとした。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

子どもの予防接種	・令和2年3月19日以降、やむを得ず対象期間内に接種できなかった方の接種期間を延長して令和5年9月30日までとした（ただしBCGは4歳、肺炎球菌は6歳まで、子宮頸がん予防については令和4年3月31日まで）。
総合防災訓練医療連携訓練	・訓練を中止。
人間ドック	・定員を変更して実施。
薬に関する啓発を目的とした講演会	・事業を中止。
チャレンジキッズ教室	・事業を中止（令和2年3月～）。
親子食育ウォーキング教室	・事業を中止（令和2年3月～）。
「リズムでDANDAN！ for キッズ」等の普及活動	・事業を中止（令和2年3月～）。
健康体操教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
学んで実践！ウォーキング教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康体操教室（65歳以上対象クラス）	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり応援教室 ころばぬコース	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
高齢者筋力向上プログラム ・つくろう！健脚教室 ・いきいき体づくり教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
地域各種団体との共催事業	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり応援パートナー連携事業	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり協力事業	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり出前講座	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。 ・オンライン出前講座（親子参加、インボディ）を開始。
インボディ測定会	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
インボディミニ測定会	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
ノルディックウォーキング教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
食事診断	・従来の窓口や郵送での実施方法のほか、Webフォームでの食事記録表の提出を開始。
腰痛予防・背骨コンディショニング教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
市内イベント等での健康づくり情報発信活動	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。

8. 国民健康保険

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免 コロナ継続

新型コロナウイルス感染症により、①主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った世帯、②主たる生計維持者の事業収入等が著しく減少した世帯について、申請に基づき国民健康保険税を減免する。

実績

年度	2	3
決定件数（件）	397	200
決定額（円）	61,603,800	21,562,900

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の徴収猶予の特例制度

新型コロナウイルス感染症の影響により事業等に係る収入に相当の減少があり、一時に納税することが困難な世帯について、申請に基づき徴収を猶予する。令和3年2月1日申請分までが対象（地方税法附則第59条）。

実績

年度	2
決定件数（件）	92
決定額（円）	14,762,900

(3) 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対する傷病手当金 コロナ継続

新型コロナウイルス感染症に感染、又は発熱等の症状があり感染が疑われる場合に、感染拡大を防止するため会社等を休みやすい環境を整備することを目的に傷病手当金を支給する。

実績

年度	2	3
決定件数（件）	1	16
決定額（円）	519,987	1,028,178

（保険年金課）